

(一財)新潟県建設技術センター 令和4年度研究助成事業

令和4年度
一般財団法人
新潟県建設技術センター研究助成事業

活動報告書

良寛文化の普及と良寛の里の地域活性化に関する事業

NPO 法人良寛の里活性化研究会

令和4年11月

活動の目的と背景

2002 年 6 月に、良寛さんをテーマに地域の活性化を図ろうと、良寛の里地域活性化プランを作成しました。これが契機となり、良寛史跡の現地視察を初め意見交換会も開催したことから当会の発足に繋がり、出雲崎町・与板町・寺泊町・和島村・分水町の商工会や三島北部分水観光連絡協議会より支援を受けて活性化プランの展示パネルを作成し県民文化祭へ出展しました。その後、当時の新潟県総合政策部より良寛たずね道のサイン看板を企画するに当り、当会に相談に乗ってほしいと依頼があり、良寛さんのシルエットを創り良寛の里案内看板が良寛ゆかりの里の各地の道路標識に設置されました。また、長岡地域振興局の委託を受け、良寛さんに関する案内パンフレットの企画を行い、『良寛たずね道 88 カ所巡り』や『良寛いつわ』などが出版されました。インフラに関しても新設道路の整備や橋梁整備・ポケットパークの新設にも波及し今日に至っています。



県民文化祭



良寛の里案内パーク出雲崎

当会が 2007 年に NPO 法人化して 15 年経過し、この間に長岡北スマート I C が開通し、良寛の里へのアクセスルートが変わってきたことから、良寛の里活性化プランを見直し、さらに良寛の里としての地域の連携や良寛顕彰と共に活性化の一助になればと、ポケットパークの計画案を盛り込んだ展示パネルを作成し、巡りやすい良寛の里の整備に繋げて行ければと思い提案しました。また、良寛顕彰の一助になればとガイドマニュアルを作成し良寛さんを分かりやすく学び、ガイドの要請や良寛ファンの拡大に繋げて行きたいと思います。

また、この機会に良寛の里活性化研究会 15 周年記念フォーラムを開催し、展示パネルのお披露目やガイドマニュアルの配布、また、記念講演として「良寛さまのお墓について」を木村家ご当主木村元藏様にご講演をいただき、貴重な良寛さんにまつわる話を聞くことができて良寛研究家にとりましても貴重な講演会となりました。

良寛さんを敬慕する人は全国に広がっていて、全国良寛会が組織されています。令和 4 年 10 月 1 日と 2 日に出雲崎町を会場に全国良寛会出雲崎大会が開催されました。コロナ禍で三年ぶりに一堂に会しての開催となり盛会となりました。しかし、高齢化が進み次の世代への継承や良寛をいかに顕彰していくかが大きな課題となっていることを肌で感じる会となりました。簡単ではありませんが、わかり易い良寛さん・巡りやすい良寛の里をソフトとハード両面で創り上げていく必要があります。

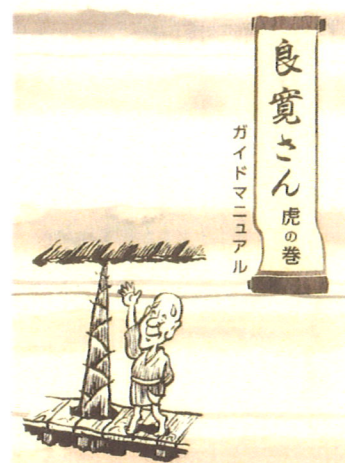
活動実績

1. ガイドマニュアル「良寛さん虎の巻」作成

一つの地域だけであれば、地域のボランティアガイドさんから対応していただけるのですが、良寛様のガイドは、地域が広くて全ての地域（長岡・与板・出雲崎・和島・寺泊・分水）をガイドするのは難しく、良寛を研究された限られた人しかガイドを務めることが出来ませんでした。活性化研究会では、生前に全国良寛会常任理事を務められていた故松本市壽先生からご足労頂き、良寛の里を案内する心得を一緒に史跡を巡りながら良寛をガイドするポイントやコツを教えて頂いたことがありました。その時の松本先生の説明を基に原稿を起こし、誰でもガイドが出来る様にとガイドマニュアル「良寛さん虎の巻」を作成しました。良寛さんの入門書としても読めるように分かり易い文面となっています。15周年記念フォーラムの参加者に配布しました。



ガイド研修の様子



2. 展示パネルの作成

冒頭でも述べさせていただいていますが、長岡北スマート IC が開通した事により、良寛の里のエリアに最も近いインターチェンジになりました。その事によりアクセスルートが変わった事と、長岡地域振興局の委託を受けて以前に作成した良寛たずね道 88 カ所巡りの箇所を全体地図に掲載し、良寛さんを紹介する展示パネルにも 88 箇所を明示しリストも掲載し作成しました。また、良寛の史跡が集まっている出雲崎エリア・寺泊エリア・分水エリア・与板エリア・和島エリアの中間的な位置にある良寛史跡をポケットパークとして整備し、より良寛エリアとして地域の連携を醸成する効果を期待し、郷本の空庵ポケットパーク・塩之入歌碑ポケットパーク・大森子揚ポケットパーク・椿の森ポケットパーク・夕ぐれの岡パーキングの整備を提案するパネルを作成しました。

(A1 サイズ 1 枚、A2 サイズ 33 枚)

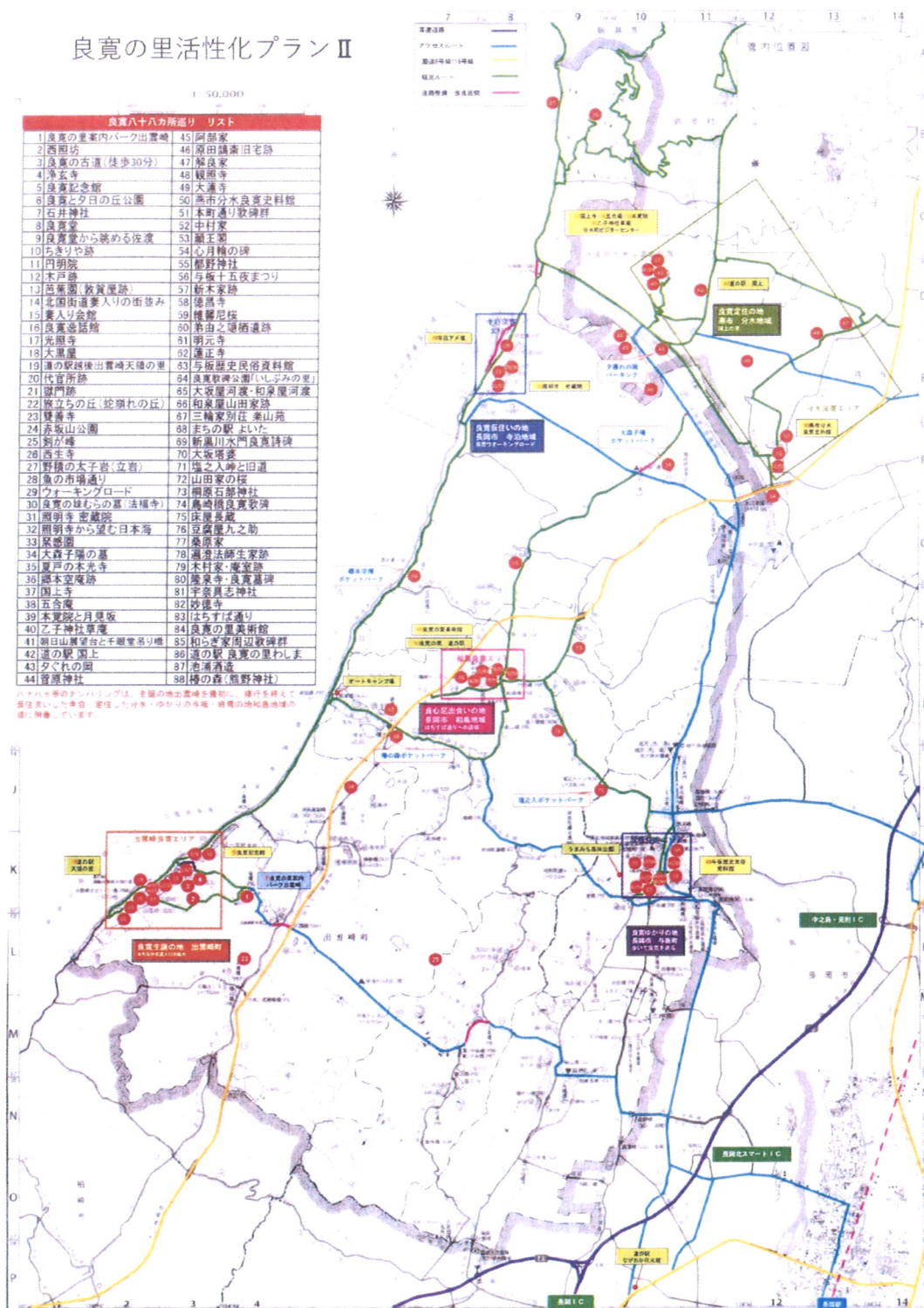
作成したパネル：地図にアクセスルートや周遊ルート・良寛さんの史跡が集中するエリアと提案したポケットパークの位置・良寛たずね道 88 カ所巡りの箇所のリストと位置を明示しました。(A1 サイズ)

良寛の里活性化プランⅡ

1: 50,000

鹿児島県内パーク出雲崎 リスト	
1 食きの星家内パーク出雲崎	45 阿蘇家
2 西田坊	46 原田清盛田宅跡
3 食きの古道 (徒歩30分)	47 飯良家
4 淳玄寺	48 飯野寺
5 飯良記念館	49 大通寺
6 食きと夕日の丘公園	50 西村分木食古史料館
7 石井神社	51 本町通に飯野村
8 食き堂	52 中井家
9 飯良から眺める佐渡	53 飯良寺
10 中井家と砂	54 月輪の碑
11 門内神社	55 飯野神社
12 木下邸	56 与極十五夜まつり
13 飯良園 (教育施設)	57 飯木家蔵
14 北園道遊楽入りの街並み	58 飯橋寺
15 妻入り会館	59 藤原鑑忠
16 食き遺跡館	60 赤田の運河遺跡
17 飯良寺	61 明元寺
18 飯良寺	62 正徳寺
19 飯良の原野遺跡出雲崎の天里	63 飯良史料民俗資料館
20 飯良寺跡	64 飯良寺跡公園 (11.9.24.まで)
21 門内神社	65 久米河原・和波渡河原
22 飯立ちの丘 (蛇絡めの丘)	66 飯良原山田家跡
23 飯良寺	67 三輪家別荘 赤山苑
24 赤坂山公園	68 ちまの駅・上11
25 新が峰	69 新風川水門良意詩碑
26 飯良寺	70 久米河原
27 飯良の寺	71 飯立の寺・二日道
28 飯良の寺	72 山田家の桜
29 ウェーキングロード	73 飯良古郷神社
30 食きの星家の墓 (法橋寺)	74 島崎仙太郎墓
31 飯良寺 飯良園	75 飯良康盛
32 飯良寺から望む日本海	76 飯良飯良之助
33 飯良園	77 赤原家
34 飯古子孫の墓	78 飯良法勝寺家跡
35 飯古の木立	79 飯良寺
36 飯古家跡	80 飯良寺・飯良園
37 飯古上寺	81 宇奈宮神社
38 五合庵	82 妙徳寺
39 飯良園と月見夜	83 はらちすば通り
40 乙子神社跡	84 飯良の飯良神社
41 飯良田舎町並みと千歳堂寺境内	85 和ら家蔵田辺破跡
42 飯古の町並	86 飯良の飯良の飯良の飯良
43 夕ぐれの丘	87 飯良寺 (飯良神社)
44 飯古神社	88 飯良 (飯良神社)

ハナハチ亭のナンバリングは、主園の地出露峰を最初に、障行を終えて
仮住まいした寺宿・定住した分水・中がりの寺宿・終焉の地和島地域の
順に附番しています。



良寛さんを紹介するパネルとポケットパークの計画を提案したパネルを作成（A2 サイズ）



3. パネル展

良寛の里活性化研究会 15 周年記念フォーラムの第一部としてホテルニューオータニ長岡の一室を会場にしてパネルを展示しました。会場には、今回作成したパネルの他に以前作成したパネルも展示し、良寛さんの紹介とともに良寛の里の活性化を目的にポケットパークの計画を展示しました。また、来場者には配布用に展示パネルの冊子を作成し配布しました。また、ガイドマニュアル「良寛さん虎の巻」も配布しました。



4. 講演会の開催

記念講演は木村家当主の木村元藏氏を講師にお招きし、「良寛さまのお墓について」を演題にして行われた。14 ページに及ぶ詳細な資料をもとに、丁寧でわかりやすい説明であった。主な内容は、良寛の由之宛書状、良寛の馬之助宛て書状、由之の木村家宛て書状、馬之助の木村家宛て書状などからわかる良寛の最晩年の実情。良寛のお墓建立に中

心的にかかわったのは与板の山田杜皐をはじめ、富取武左衛門、原田正貞らであったことや、天保二年に亡くなった良寛のお墓が天保四年に能登屋の墓地の中央に建立された経緯、由之の墓が良寛の墓のとなり立てられた経緯、良寛のお墓の碑文に漢詩「僧伽」が選ばれた要因など、良寛のお墓に関する興味深いお話。徳昌寺の古斑和尚が大蔵経を購入したが、資金不足のために能登屋に質入れとなり、これを憂いた良寛の進言を受入、能登屋が債権を放棄し、大蔵経を徳昌寺へ施入ことや、大蔵経の購入資金の勧進に江戸に行った維馨尼へ良寛が「天寒自愛…」の書簡を出したこと、など。



5. 15周年記念フォーラム交流会での来賓挨拶ほか

県議会議員 柄沢正三 様

良寛の里活性化研究会 15周年誠にありがとうございます。今程は、木村様より良寛にまつわる貴重な講演をいただき、誠にありがとうございました。

良寛さんは、芸術的にも素晴らしい高僧であります。一泊二日のガイド付きパック旅行を企画し、良寛のPRを考えて欲しい。

出雲崎町 町長 小林則幸 様

研究会の活動は、良寛の里の案内板の設置や、良寛顕彰の活動、ポケットパーク「良寛の里案内パーク出雲崎」の設置にご尽力されました。ゆかしい、素晴らしい心から慕われた良寛様の心をしっかり学ぶことが大事であります。10月には全国良寛会を開催しました。また、小中学校では一貫して良寛の教育をしています。研究会の活躍を祈念し挨拶とします。

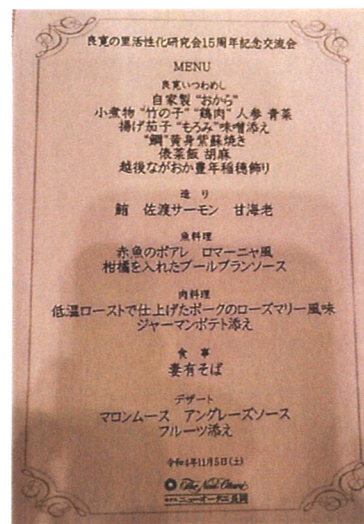
長岡市長磯田達伸 代理 和島支所長 金垣孝二 様
市長祝辞代読

全国良寛会 会長 小島正芳 様

人口の減少、高齢化で文化の継承がうまくいっていない。遺徳の顕彰を通じて、地域

の活性化にご尽力している事に敬意を表します。色々な角度から色々な事業をされて佩服いたしております。講演会では、木村さんの話をお聴きし大変参考になりました。良寛さんの遺宝を守り、繋げて行くことは大変でございます。昭和53年に全国良寛会が発足し良寛の遺徳を顕彰する会として立ち上がりました。行政やマスコミと連携し、広めて行きたいと思います。今年はお出雲崎町で全国良寛会を開催し大変お世話になりました。来年は東京のお茶の水で開催される予定です。

交流会では、ホテルの心遣いで「良寛いつわめし」のレシピを用いた前菜を提供していただきました。フォーラムの式次第にも良寛いつわめしの解説を掲載し、参加者への周知を図りました。交流会終了後に、長岡駅のお弁当屋さんに作ってもらおうかなどと盛り上がりました。



6. ガイドマニュアルの活用について

今回作成したガイドマニュアル『良寛さん虎の巻』を使い、随時、講演会を開催しガイドの育成や良寛文化の入門書的な活用を図り、良寛さんの顕彰に努めて参ります。

また、近隣の小中学校において行われる生涯学習の教材として提供し子供たちの世代に良寛さんを学習してもらう機会を創出して行きます。さらに、良寛さんに興味があり良寛記念館や良寛の里美術館などに訪れた方に配布できるように手配する所存です。